

---

# 平成24年度予算第一特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査

平成24年3月1日

質問者（質問順）

- 1 五十嵐 節 馬 委 員 (民 主 党)
- 2 望 月 康 弘 委 員 (公 明 党)
- 3 大 岩 真善和 委 員 (み ん な)
- 4 黒 川 勝 委 員 (自 民 党)
- 5 山 下 正 人 委 員 (自 民 党)

病 院 経 営 局

# 局 別 審 査

## 1 五十嵐 節 馬 委員（民主党）

### 1 病院経営について

- (1) 病院経営を取り巻く環境に対する所感を伺いたい。
- (2) 24年度病院事業会計予算の方針を伺いたい。

### 2 一般会計繰入金について

- (1) 病院事業に対する繰入金の基本的な考え方を伺いたい。
- (2) 積算方法を見直した理由を伺いたい。
- (3) 繰入金が増となった理由を伺いたい。
- (4) 繰入れがルール化されてしまっていないか。政策的医療において繰入金を受けないことはあるのか。
- (要望) 公立病院は市民生活の安心を守るために必要だと考えるが、本市一般会計が厳しい財政状況にある中ではより一層の繰入金抑制に努めていただきたい。

### 3 市民病院の老朽化・狭あい化対策について

- (1) 老朽化・狭あい化対策を諮問した理由を伺いたい。
- (2) 具体的な老朽化・狭あい化の現状について伺いたい。
- (3) 再整備に関する現在の検討状況について伺いたい。
- (4) 24年度予算で調査費を計上していない理由を伺いたい。
- (5) 再整備の候補地として考えている範囲について伺いたい。
- (6) 建設地決定の時期について伺いたい。

### 4 市民病院、みなと赤十字病院の救急医療について

- (1) 市民病院、みなと赤十字病院の受入断りの状況について伺いたい。
- (2) 市民病院、みなと赤十字病院の受入断りの理由を伺いたい。
- (3) 市民病院、みなと赤十字病院の受入断り率の低減に向けた取組を伺いたい。

## 5 市民病院の産科・周産期医療について

- (1) 市民病院の分娩取扱件数を伺いたい。
- (2) 市民病院の周産期救急取扱件数を伺いたい。
- (3) 市民病院における産科医療の課題を伺いたい。
- (4) 市民病院の産科医療の充実に向けた取組を伺いたい。
- (要望) 現時点においては施設等の制約が数多くあるが、救急患者及び産科・周産期患者の更なる受入れのために一層の努力をお願いしたい。再整備にあたっては現場の声を十分に反映されたい。

## 6 脳血管医療センターの経営改善について

- (1) 24年度予算における経営改善の取組を伺いたい。
- (2) 医療機能の拡大・拡充のために計上している主な経費について伺いたい。
- (3) 第2次中期経営プランの最終年度における、医療機能の拡大による患者数、医業収益及び経常収支見込みについて伺いたい。
- (4) 開院時からの経常損失の累計額を伺いたい。
- (5) 脳血管医療センターの名称変更について伺いたい。
- (6) 医師確保策についての、横浜市立大学との協力体制について副市長に伺いたい。
- (要望) 更なる経営改善と、市民に広く利用される施設となることを要請したい。

## 7 みなと赤十字病院の取組と評価について

- (1) みなと赤十字病院の取組に対する評価、みなと赤十字病院の精神科救急医療における位置づけ、精神科救急医療におけるこれまでの取組、今後の精神科救急医療の充実に向けた取組を伺いたい。

## 8 看護師の確保について

- (1) 昨年度と比較した本年度の看護師確保状況について伺いたい。看護師確保に向けた今後の取組、看護師キャリア支援室における具体的な取組を伺いたい。

2 望 月 康 弘 委員（公明党）

1 横浜市病院事業の経営改革について

（１）病院事業管理者として横浜市病院事業の経営改革を進めてきた所感を伺いたい。

2 市民病院の災害時医療について

（１）DMATの果たす役割・機能を伺いたい。

（２）DMAT指定を受けるための条件を伺いたい。

（３）市民病院の施設設備面での災害対策上の課題を伺いたい。

（意見）本市の災害医療の充実という観点からも、市民病院の再整備に早急に着手する必要がある。

3 市民病院の再整備について

（１）移転による再整備についての見解を伺いたい。

4 脳血管医療センターの果たすべき役割について

（１）脳血管医療センターの設立理念を伺いたい。

（２）横浜市立病院経営委員会答申における脳血管医療センターの医療機能面の課題を伺いたい。

（３）現行の脳血管医療センターの医療機能の評価を伺いたい。

（４）横浜市立病院経営委員会で課題とされた診療体制の充実について伺いたい。

（５）高度で先進的な医療の提供の取組を伺いたい。

（６）第２次横浜市立病院中期経営プランにおける脳血管医療センターが今後果たすべき役割を伺いたい。

（要望）効率的な病院経営の実現に向け確実に取り組まれない。名称変更に際しては、議会はもちろん第三者委員会や市民にもよく見える形で進めてもらいたい。

5 みなと赤十字病院のアレルギー疾患医療について

- (1) これまでのアレルギー疾患医療に対する評価を伺いたい。
- (2) アレルギーセンターの拡充について伺いたい。
- (3) 検査室・処置室の増設による医療機能面での効果を伺いたい。
- (4) アレルギー専門医の確保について伺いたい。
- (5) 臨床研究面での充実について伺いたい。
- (6) アレルギー医療に対する普及・啓発活動への取組を伺いたい。

6 みなと赤十字病院の周産期医療について

- (1) 本市の周産期医療体制におけるみなと赤十字病院の役割を伺いたい。
- (2) これまでの周産期医療の取組に対する評価を伺いたい。
- (3) 産婦人科医の確保の見通しについて伺いたい。
- (4) 分娩件数や出産環境での効果を伺いたい。
- (5) 産婦人科医が増えることによる分娩以外の医療機能面での効果を伺いたい。

### 3 大 岩 真善和 委員（みんな）

#### 1 3病院の一般会計からの負担（繰入金・企業債償還）について

- (1) 過去5年間の経常収支の推移の病院別内訳について伺いたい。
- (2) 22年度末における未処理欠損金の病院別内訳について伺いたい。
- (3) 港湾病院事業の未処理欠損金の処理方法を伺いたい。  
(要望) 港湾病院事業の未処理損失は資本を使って解消し、新たな予算は組まれな  
いとのことだが、資本は元々一般会計からの繰入金で市民負担であり、未処  
理損失を膨らませないための一層の努力を要望したい。
- (4) 一般会計からの繰入金の過去5年間の推移の病院別内訳について伺いたい。
- (5) 病院経営をする上で、どうして多額の繰入金が必要となるのか。また、この  
多額の繰入金を縮減させる為に、過去どのような経営努力をしてきたのか。今  
後、この多額の繰入金を縮減する為に、どのような努力をしていくのか。
- (6) 3病院が建設された時期、病院建設にかかった総事業費、その見合いとして  
発行した企業債の金額、企業債の償還年数及び毎年の償還金額と、償還がいつ  
まで続くのかということについて伺いたい。

#### 2 市民病院の再整備手法について

- (1) 3病院の1㎡あたりの建築費を伺いたい。
- (2) 他都市の病院について1㎡あたりの建設費用の状況について伺いたい。
- (3) 病院経営委員会の指摘にある様々な整備手法について、現在の検討状況を伺  
いたい。  
(要望) 先行事例の視察に多少のコストをかけたとしても、横浜市が全国の先進事  
例となる気概で新しい考え方・手法に取り組んでいただきたい。
- (4) 改正PFI法の3点の内容について伺いたい。

#### 3 脳血管医療センターの経営状況について

- (1) 過去5年間の医業収入の推移について伺いたい。

- (2) 外来の一日平均患者数、年間延患者数及び収入額、入院の一日平均患者数、新入院患者数、年間延患者数及び収入額の推移について伺いたい。
- (3) 延入院患者数の減少は、病床稼働の状況が影響していると思うが、その主な要因を伺いたい。
- (4) 病院経営で重要な指標となる病床稼働率の推移について伺いたい。
- (5) 人件費及び人件費の医業収入に占める割合の推移について伺いたい。
- (6) 人件費比率改善の為に、過去どのような努力が行われ、今後どのような努力をしていくつもりか。

#### 4 脳血管医療センターの次期経営プランでの投資とその責任について

- (1) 投資の概要（人件費、設備費他）について伺いたい。
  - (2) 入院収益、外来収益の収益改善について「何をどれだけ増やす」という計画について、診療領域別に患者数と収益額の詳細と、収支見込みと投資の妥当性について伺いたい。
  - (3) 入院患者数及び外来患者数の目標数値について、達成に向けての決意を伺いたい。
  - (4) 投資による効果・結果が得られない場合にはどうするのか。また、結果については、誰がどのように責任をもつのか。
  - (5) 今後の病院経営のあり方を、どのように検討していくのか副市長に伺いたい。
- (要望) 他の事業と同様、病院経営も市民の皆様の大事なお金をお預かりして行っている事業であることから、経営改善の一層の努力をお願いしたい。

1 市民病院のがん検診について

- (1) がん検診センターにおけるがん検診の特徴を伺いたい。
  - (2) がん検診センターの最近の検診実績を伺いたい。
  - (3) 受診者数が減少した理由を伺いたい。
  - (4) 受診者数増加のための取組を伺いたい。
  - (5) がん検診センターでがんが発見された受診者への市民病院としての取組を伺いたい。
- (意見) 早期発見から治療まで一貫して行える強みを生かして、すべてのがん検診で受診者数の数値を上げるために、職員の意識改革は大切である。
- (6) 市民病院も含め、市全体でがん検診の受診率を上げていく決意を副市長に伺いたい。

2 地域がん診療連携拠点病院について

- (1) 診療体制の指定要件を伺いたい。
- (2) 地域がん診療連携拠点病院としてのメリットを伺いたい。
- (3) 市民病院の医師間の情報共有の取組を伺いたい。
- (4) 市民病院の院内がん登録の状況について伺いたい。
- (5) みなと赤十字病院におけるがん診療について伺いたい。
- (6) みなと赤十字病院におけるがん診療の充実に向けた取組を伺いたい。

3 市民病院のがんに対する高度で先進的な取組について

- (1) がん診療で充実している分野を伺いたい。
  - (2) 将来的ながん診療の機能を伺いたい。
  - (3) 高度医療に必要な最先端の医療機能導入の必要性について伺いたい。
- (意見) 何十年に一度の建替えという機会を生かし、がん治療の拠点として、がん治療といえば市民病院と言われるように期待している。



#### 4 市民病院の緩和ケアについて

- (1) 緩和ケア病棟全床オープン前の実績を伺いたい。
- (2) 緩和ケア病棟全床オープン後の実績を伺いたい。
- (3) 緩和ケア病棟における治療の内容について伺いたい。
- (4) 緩和ケア病棟に入院するまでの待機期間について伺いたい。
- (5) 多くの患者さんを受け入れるための取組を伺いたい。
- (6) みなと赤十字病院の緩和ケアの取組内容とその特徴、市民病院との違いや連携について伺いたい。

#### 5 地域医療連携について

- (1) 市民病院の紹介率と逆紹介率、医療機器共同利用及び地域医療機関従事者向け研修会の回数の実績を伺いたい。
- (2) 市民病院における地域医療連携を推進するための新たな取組を伺いたい。
- (3) 市民病院における「がん地域連携パス」の実績と今後の展開を伺いたい。
- (4) みなと赤十字病院の紹介率と逆紹介率、医療機器共同利用及び地域医療機関従事者向け研修会の回数の実績を伺いたい。
- (5) みなと赤十字病院における地域医療連携の具体的な取組と課題を伺いたい。
- (6) みなと赤十字病院の地域医療連携の取組に対する本市の評価を伺いたい。
- (意見) 地域の医療機関と役割分担し共存共栄を図ることは、中小企業振興基本条例と理念的には同じであり、共に連携しがんの撲滅に取り組んでほしい。
- (7) 市全体の医療・福祉政策における市立病院の役割について副市長の見解を伺いたい。

1 中期経営プランについて

- (1) 公立病院の役割に対する認識を伺いたい。
- (2) 第1次中期経営プランの取組に対する評価と残された課題を伺いたい。
- (3) 第2次中期経営プランの重点項目について伺いたい。
- (4) 24年度予算における一般会計繰入れの状況と繰入基準について伺いたい。
- (5) 政策医療に関する他の公的病院との役割分担及び政策医療の集中化による効率化の可能性について伺いたい。
- (6) 医師のネットワークで脳血管医療センターの医師を確保することは、医師である脳血管医療センター長にとって大事な仕事だと思うが、見解を伺いたい。
- (7) 横浜市の定期人事異動による病院経営の継続性への問題の有無について伺いたい。
- (8) 市立病院における優秀な外部の専門人材採用に対する考えを伺いたい。
- (9) 病院改革を進める上で職員の人事異動についての考え及び優秀な外部人材の採用に対する協力について副市長に伺いたい。

2 脳血管医療センターについて

- (1) 脳血管医療センターの整備目的を伺いたい。
- (2) 公立病院として脳血管医療センターが担う役割を伺いたい。
- (3) 脳卒中という病気の性質上、スピードが命だと思われるが、南部医療圏に救急病院が多数ある中で脳卒中の専門病院として経営が成り立つのか。
- (4) 脳血管医療センターの将来ビジョンを伺いたい。
- (5) 第2次中期経営プランの実行可能性及び総務省のガイドラインが示す経常黒字の目標年度に対する認識について伺いたい。
- (6) 今後3年間の成果によっては、病院の経営形態について議論が出ると考えられることに対する病院事業管理者の決意を伺いたい。